

学校目標・経営方針 自己実現を目指すために、学ぶ意欲、問題解決能力、個性豊かな人間性を養う

本年度の重点目標	1 主体的・対話的で深い学びを目指す。
	2 問題解決能力及び共生・共感を培う人間関係づくりを推進する。
	3 自主自立の生活の向上を図り、個性豊かな人間性の育成に努める。
	4 家庭・地域・関係機関への教育活動の周知及び連携の促進を図る。
	5 「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標		年度末評価(令和8年2月6日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	主体的・対話的で深い学びに向けた指導の充実	①育てたい生徒のゴールイメージを明確に持ち、社会で生きていくためのレディネスを整えることができるような授業改善・授業実践に取り組む。	生徒・保護者・職員の評価アンケート、学校運営協議会委員の評価、生活実態アンケートなど
		②生徒が授業で学んだ知識・技能を実生活で活用する場面を設定し、生きて働く学力を身に付けることができるように学校教育全体を通して取り組む。	
		③シラバス、学習の手引き、スタディサブリを活用し、生徒が見通しを持って、基礎学力及び家庭学習の定着を図ることができるように努める。	
2	問題解決能力及び共生・共感を培う人間関係づくりの育成	①様々な体験活動や部活動等への積極的な取り組みを通して、コミュニケーション能力を高める。	生徒・保護者・職員の評価アンケート、学校運営協議会委員の評価、生活実態アンケートなど
		②自己を正しく理解させ、在り方や生き方について考えさせる取り組みを実践し、自己有用感や充実感を育む。	
3	自主自立の生活の向上を図り、個性豊かな人間性を育成する	①本年度は、生徒の学校生活における重点目標を、(1)服装・頭髪、身だしなみを整える。(2)時間を守る。(3)整理整頓に努めるとし、生徒が主体的に基本的生活習慣の確立及び集団生活のルールやマナーを遵守する態度を持つことができるように取り組む。	生徒・保護者・職員の評価アンケート、学校運営協議会委員の評価、生活実態アンケートなど
		②生徒の主体的な活動を推進し、自主自立の精神と道徳性の向上に努める。	
4	家庭・地域・関係機関への教育活動の周知及び連携の促進	①学校ホームページや便りによる情報発信を工夫し、ホームページ等の充実を図る。	生徒・保護者・職員の評価アンケート、学校運営協議会委員の評価、生活実態アンケートなど
		②学校運営協議会や地域の企業や関係機関との交流を深め、地域に開かれた学校づくりに取り組む。	
		③授業等において効果的な外部人材の活用に取り組み、業務の役割分担・適正化に努める。	
5	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	①条例に定めのある勤務時間を周知し、自主的・自発的な勤務時間管理を徹底し、働きやすい学校を目指す。	勤退管理システムの集計表、職員評価アンケート
		②年間行事の精選、検討に取り組み、校務分掌の再編を進める。	

学校関係者評価	
実施日(令和8年3月3日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれの取組についても、生徒一人一人の実態に応じた個別最適な学びを保障できるよう教職員の指導方針のベクトルが学校目標に向いていることが重要である。学校としての方針を更に浸透できるように取り組むとともに、課題解決に向けての第一歩に何をしなければ効果的なのかを精査して、職員全体で共通理解して実践していくことが成果につながっていくと思う。</li> <li>生徒一人ひとりに沿った、丁寧な学習指導・進路指導に頭が下る。卒業がゴールではないことは当然のことだが、社会で生きていくために必要な資質・能力の育成に向けて、進路指導と合致した学習指導をお願いしたい。</li> <li>毎回の授業・単元全体で見直しを持って学習に臨むことで、振り返りを次時につなげる意識が生まれ、家庭学習の充実にも役立てられると思う。そのためには、その仕掛けづくりが授業者に求められる。簡単にできることではないが、そういった習慣付けができるよう取り組んでほしい。</li> <li>実社会の課題や職業と関連付けた授業実践の充実は、それらにリアリティを持たせることにもつながり効果的である。その実践例としては、例えば、「情報」の授業において、基礎的事項を習得した後、ITエンジニアの仕事の基礎的初歩的な事柄を体験し、その内容及び社会的意義を理解するなどあげられる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な体験的な活動を仕組み、また充実した部活動を実施していただいていると感じる。それらの成果が「相手の立場を考えたながら関わろうとする姿勢」に表れているのだと感じる。また、そういった姿勢を示す生徒が増えることで、他の生徒も相乗的な変化が見られるはずである。今後も継続したご指導をよろしくお願ひしたい。</li> <li>個人個人の個性を育てる取り組みに発展するように期待している。</li> <li>生活実態アンケートなどのアンケートを通して、生徒同士で仲間の道徳的な行動などをあげ、互いに認め合えるような取組があったらよいのではないかと考える。数値化がなかなかできない非認知能力、自己有用感を高まっていくことを期待している。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に活動する機会を一層充実させるためには、生徒の自己肯定感・有用感を向上させていく取組が重要と思われる。学校として生徒自身が考えていることやニーズについて傾聴する機会をさらに増やし、学校が持続可能な範囲で応えていくことで、学校への信頼感も増し、愛校心の拡充にもつながると思われる。北杜高校において自分が考えていることが実現する成功体験を重ねることを通じて、生徒自身が考え、判断し、行動する意欲の向上につながると思う。</li> <li>高校生に限らず、生徒の主体性と、教育上・学校運営上の指導のバランスは、とても難しいと感じる。そんな中、「教職員全員で生徒の主体的な活動を支える取組を進めたことで、自主自立の意識や道徳性の向上が感じられる生徒も増えてきた」ことは素晴らしいことである。上記同様、そういった生徒の増加が、必ず他の生徒にも影響するはずであるので、継続したご指導をよろしくお願ひしたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページの更新や、スタディサブリを活用した各種便り・お知らせ、行事予定等の情報発信に重点を置いているということであるが、北杜高校の特長をより多角的に発信していけると思う。地域と連携した食品開発や全国、県で活躍している部活動の様子等を報道機関に取材してもらったり、広報誌で情報提供したりすることなどを通じて、「既存の素晴らしい」を生徒、教職員の負担にならない中で発信していけるとよいのではないかと。地域や小中学生に魅力を理解してもらえよう発信していくことで北杜高校のイメージアップにつなげていけるとよい。</li> <li>授業に限らず、学校行事やキャリア教育、特別活動等においても外部人材との連携を推進し、専門的な助言やアドバイスを教育活動全体に生かしていることを今後もぜひ継続していけるとよい。今後も外部人材の専門性を明確に位置付け、教職員との協働を通して、生徒の学びや成長につながる効果的な活用を学校全体で計画的に進めていけるとよい。</li> <li>学校内では、さまざまな取り組みが精力的に進められており、学校ホームページ等については、外部の専門家の意見も参考にしながら、より伝わる制作方法を探る取り組みを進めてほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革における勤務時間管理は、喫緊の課題だと考える。教育活動の充実・教職員のやりがいやモチベーションを損なうことなく、業務改善や業務偏りの見直しを進めることは、管理職の先生方にとって大変なことだと思う。まずは、風通しの良い職場の実現を目指し、伝え合える関係の構築が大切だと(自分自身も)痛感している。</li> <li>時代に即した働き方改革は不可避なので、継続した改善を期待している。</li> <li>業務改善についての意識の向上があり、超過勤務の状況が改善していることは評価できる。業務改善について、全職員が自分事として、業務の平準化やICT機器の利活用を通しての効率化をなお一層進めていくことで改善が図られていくことを期待している。</li> </ul>

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。